

# 瑞浪市公共施設等総合管理計画 公共施設再編成プラン（案）に対する

## ご意見と市の考え方

- ・ 募集期間 令和2年12月16日（水） ～ 令和3年1月15日（金）
- ・ 閲覧件数 110 件
- ・ 意見提出人数 1 人（内訳 市内 1 人、その他 0 人）
- ・ 意見数 3 件

いただいたご意見について、適宜要約した上、市の考え方について次のとおり公表します。

番号	ご意見	市の考え方（修正内容）
1	<p>公共施設は、すべて瑞浪市のシンボルである。立派なシンボルがいくつあっても、人口を呼び込むことはできないし、歳入を多くすることもできない。国や県から補助金がでるのは、財政改善できる再編成プランであって、広域連携、統合、民間委託など積極的運営プランが必要となる。</p> <p>市に独自予算で再編、更新、改造するのは、効率的ではなく、ライフスタイルも変わってくることも予測され、長寿命化プランを中心とすべきである。</p>	<p>これまでも市民サービスの向上に資するため、庁舎、学校、文化施設、福祉施設など公共施設の整備を進めてきました。しかしながら、近年では厳しい財政状況下の中、人口減少等により公共施設の利用需要の変化が予想されています。そのため、本プランでは、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政負担の軽減・平準化を図るため、公共施設の全体を把握する中で公共施設の最適化と持続可能な財政運営の両立を目指していくこととしています。また、従来からの維持修繕・長寿命化を中心とする取り組みだけでは、費用平準化で一定の効果は期待できるものの、更新問題を解決するには十分ではないと考えています。そのため、総量削減を最優先に考え、その上で維持修繕・長寿命化などのさまざまな取り組みを計画的に推進していきます。</p>
2	<p>公共施設再編成の目標が、50年で床面積30%削減は、人口予測をもとにしたもので、社会の変革スピードに比べて、あまりにも遅く、少ない。人口減少、少子化が続き、高齢者の人口も2025年から減少し、公共施設の利用も減少に転じることが予測される。</p> <p>施設はすでに資本投下が済んでいるので、設備の運営コストを低減するため、広域連携、統合、廃却が求められており、PPP、PFI制度を活用し、転用、売却も視野に入れて、長寿命化、管理コストを抑えるべきで、今後起こり得る自然災害被害の復旧も視野に入れておかなければならない。</p>	<p>30%の削減目標は、今後50年間、このまま公共施設等を全て保有し続けた場合の資産更新費用と普通建設事業費（投資的経費）の平均値を用いて算出しています。人口減少、市民ニーズの多様化等により公共施設の利用需要が変化していく中、行政サービスの水準を維持するために必要な削減目標としています。</p> <p>運営コストの低減等については、「総量の削減」「中長期的なコスト管理」「効果的・効率的な管理運営」を基本方針としていますので、施設の特性と地域性を考慮しながら、総合的に再編成を推進する中で、災害対策機能の強化やライフサイクルコストの削減などの検討を行うこととし</p>

		<p>ています。更新費用や管理運営については、P P P、P F I など民間資金、民間活力を活用した管理手法の導入を検討することとしています。</p>
3	<p>施設の利用料については、受益者負担が原則だが、財政改善の効果は小さく、管理コストの低減を検討すべきであり、施設の統合、連携、委託、廃止プランにつながってくる。</p>	<p>施設の利用料は、受益者負担の公平性を確保する観点から、公共サービスの対価として、受益者から応分の経済的負担を求めるものであるため、財政改善の効果が小さい施設も存在します。しかしながら、公共施設の再編成を行うにあたり、複合化や集約化など施設の状況変化に対応する必要があることから、使用料・手数料の見直しを行うこととしています。また、管理コストの低減は、本プランの基本方針に基づくものであり、公共施設の再編成を推進することで、効果が発現されるものと考えています。</p>